

## 概観

### 【政治・社会】

- ・ 国民議会前で学生・市民等によるデモ運動発生、逮捕者150名以上に。

### 【経 済】

- ・ ウクライナ経由のロシア産天然ガス供給停止で、総額約4.56億ユーロの経済損失が発生。
- ・ 金融危機に加えガス危機による影響を受け、産業界は政府に更なる対応策を求めた。

### 【我が国との関係】

- ・ パルヴァノフ大統領が公式訪日。両国首脳間で日・ブルガリア外交関係再開50周年に際し、政治、経済、文化等、幅広い分野で二国間関係の発展を図っていくことを確認。5月頃には秋篠宮同妃両殿下がブルガリアをご訪問予定。

この月報はブルガリア各種メディアの報道ぶり等を取りまとめたものであり、在ブルガリア日本大使館の意見や判断を反映するものではありません。

## 政治・社会

### ◆ガス供給停止

▶2日、ブルガリアにおけるウクライナ経由のロシア産天然ガス供給が減少、6日には完全に停止した。これを受けてブルガリア政府はチレン貯蔵施設からのガス供給を開始したが、通常の3分の1の供給量に止まったため、公立学校は学級閉鎖となり、一部の病院等でも暖房が停止した他、工場等でも生産ラインが停止するなどのトラブルが発生した。

▶スタニシェフ首相は14日、モスクワ、キエフを訪問、両国間での問題の一刻も早い解決を要請した。またディミトロフ経済・エネルギー大臣は、代替エネルギー案としてギリシア、またはトルコからの天然ガス輸送を検討しており、ギリシアからの同意を得た、と述べた。また、パルヴァノフ大統領等は、EU加盟時に閉鎖されたコズロドゥイ原子力発電所の再開を検討すべき、と提起した。

19日には、同発電所の再開を求める抗議運動が、新興政党Napredの主導の下、ソフィア中心部で行われた（4千人参加）。

### ◆学生による抗議運動

▶14日、政府に対する学生の抗議運動が国会議事堂前で実施された。ネット上での呼びかけを受けて集まった学生、環境保護活動家、農民等約3千名が、要求内容も参加者毎にまちまちなま平和的な抗議運動を行うというものであったが、参加した30名ほどのサッカーファン(フーリガン)が、投石等の挑発行為を始め(後に金品を受け取って故意に挑発したと証言)、車やショーウィンドウを破壊、正午には爆弾を仕掛けたとの脅迫もあった。そのため、ソフィア市長は抗議運動の中止を命令し、警察隊が介入、20名が軽いけがを負い、157名が逮捕された。

▶抗議運動は、その後も続けられ、一週間ほどでほぼ自然解散した。

## 経済

### 1. マクロ経済

#### ◆2008年の失業率は過去最低を記録

▶2008年の失業率は、過去18年間で最低の6.31%となったと統計局が発表した。雇用庁は6000万ユーロを雇用促進プログラム等へ投資しており、このような活動を通じ、平均月間失業者数は前年より18.6%、約5万3千人少なくなり、約22万人が08年中に職を得ている。

▶その一方で昨今の金融危機の影響から、今年は一転して失業率が上がると見込まれており、本年末には約8%程度になると予測されている。

#### ◆BIA：更なる中小企業対策を求める

▶ブルガリア工業連盟(BIA)のダネフ会長は、ブルガリア経済の見通しは暗く、民間債務の増加が問題となり、中小企業の倒産が相次ぐであろうと述べている。2007年の企業債務は前年比43%増の1.16億レヴァであったのに対し、2008年は同様に大幅に増加しているだろうとダネフ会長は見ている。金融危機に加え、ガス危機による影響もあり、政府に対し更なる救済策をブルガリア工業連盟は求めている。

#### ◆拡大する民間対外債務

▶中央銀行の発表によると、2008年11月時点でのブルガリアの対外債務は369.28億ユーロとなり、昨年のGDP(暫定値約340億ユーロ)を超えることとなり、GDP比108%に上っている。なお、政府の対外債務残高は27.16億ユーロ(11月時点)であった。

#### ◆外国投資

▶スタレフ外国投資庁長官は、2008年のFDIは約60億ユーロであったと発表した。詳細なデータは引き続き集計中であるとしながらも、2007年に記録した65億ユーロから若干の減少にとどまっているとしている。スタレフ長官は金融危機の

影響から今後の投資は困難なものとなるが、ブルガリアは外国投資を誘致する潜在力はまだあると述べた。

#### ◆経常収支

▶2008年11月時点での経常収支赤字は74.65億ユーロ(対GDP比21.9%)であったと中央銀行が発表した。前年同月時点では53.62億ユーロ(対GDP比18.6%)であり、大幅に増加している。景気が好調な時であれば外国投資がその赤字をファイナンスできていたが、現在はわずか70.7%しかファイナンスできていない。

### 2. その他

#### ◆2008年外国人観光客数は約850万人

▶昨年ブルガリアを訪問した外国人観光客は約850万人で、前年比10.5%増であったと観光庁が発表した。観光収入は、昨年11月時点で約24.26億ユーロで、こちらも前年比11.5%増である。しかし、12月だけを見ると観光客数は前年同月比5.5%の減少となっている。国別で見るとルーマニアが最も多く約100万人(前年比32%増)で約17%のシェア、ついでギリシャの約84万人(2%増、シェア14.6%)となっている。

#### ◆ガス供給停止によるブルガリア経済の損失

▶ウクライナ経由のロシア産天然ガス供給停止によってブルガリア経済は直接・間接的なものも含め、総額約4.56億ユーロの損害(1月29日時点)を被ったと経済・エネルギー省は発表した。386の企業が損害を被ったと報告しており、うち325社は直接的な損害として2.13億ユーロ、252社が間接的な損害として2.43億ユーロを計上している。

#### ◆エネルギー・プロジェクト・ファンド

▶欧州委員会は、ブルガリアのハスコヴォとギリ

シャのコモティニ間を結ぶ約2000万ユーロ規模のエネルギー・プロジェクトを承認した。これは50億ユーロの予算が確保されているエネルギー・インターネット・インフラプロジェクトの一部として実施されるとパローゾ欧州委員長が述べた。

#### ◆ベーレネ原子力発電所

▶ベルギーのエレクトラベル社がベーレネ原子力発電所プロジェクトへ参加することになった。昨年末、電力公社はベーレネ原子力発電所の建設を担当する戦略的投資家（株式の49%を保有）としてドイツのRWE社を選出済みであったが、この度RWE社と協力のうえ建設を担当するべくエレクトラベル社を選出した模様。今後はRWE社がファイナンスを担当し、エレクトラベル社が技

#### 我が国との関係

#### ◆麻生総理とスタニシェフ首相が年頭メッセージを交換

▶麻生総理とスタニシェフ首相は、年頭に、本年の「日・ドナウ交流年2009」及び日・ブルガリア外交関係再開50周年記念の幕開けにあたり、年頭祝賀メッセージの交換を行い、この機会に友好関係を一層強化していくとの決意を相互に確認した。

#### ◆パルヴァノフ大統領の訪日

▶25～29日、パルヴァノフ大統領夫妻が公式に訪日した。天皇皇后両陛下との御会見、麻生総理との首脳会談、両議院議長、経団連等経済関係者との意見交換、京都視察を行った。今次訪日はブルガリア大統領として12年ぶり。

▶首脳会談では、二国間の関係について、秋篠宮同妃両殿下のブルガリア訪問（5月頃）、経済関係の発展のためのブルガリアにおける投資環境の整

術的な部分を担当する予定。

#### ◆アゼルバイジャンから天然ガスを輸入

▶スタニシェフ首相とアゼルバイジャンのイルハム大統領間の交渉の結果、ブルガリアはアゼルバイジャンから、トルコを経由し毎年10億立方メートルの天然ガスを輸入する契約に署名した。早ければ2010年より天然ガスの輸送が開始され、輸送量も30億立方メートルまで増加する可能性もある。詳細な点は今後両国のガス会社間で詰められるが、今後はトルコからも同様の合意を得る必要がある。

備、開発分野での二国間の協力関係構築について協議が行われた。また、パルヴァノフ大統領から、日本文化発信ボランティアの派遣を高く評価し、活動に協力していきたいと述べた。双方は広く国際社会が直面する諸問題について、今後ともパートナーとして一層緊密な協力を行っていくことを確認。また麻生総理はバルカン半島における安定勢力としてのブルガリアの重要性を評価し、これに対しパルヴァノフ大統領もバルカン半島に国際社会共通の価値観が定着するよう、引き続き努力していきたいと述べた。

## ブルガリア内政・外交の動き（2009年1月）

在ブルガリア大使館

1 (木)	
2 (金)	●ウクライナ経由のロシア産天然ガス供給が減少開始
3 (土)	
4 (日)	
5 (月)	
6 (火)	●ロシア産天然ガス供給完全停止
7 (水)	
8 (木)	☆カルフィン外相：EU外相会合参加（於：プラハ）。早急なガス供給再開に関する共同声明を発表し、ガス供給を必要とする国々へ優先的に供給を行うよう欧州委員会に提案した。 ☆ハンガリー、ポルトガルがブルガリア、ルーマニアに対する労働市場制限を解除。
9 (金)	
10 (土)	
11 (日)	
12 (月)	
13 (火)	
14 (水)	☆スタニシェフ首相：露、ウクライナ訪問（ディミトロフ経済エネルギー大臣ら同行。プーチン露首相、モルドバ、スロバキア首相、ティモシェンコ・ウクライナ首相と会談（ガス供給問題）。
15 (木)	●学生を中心とした反政府抗議運動が国民議会前で実施される。
16 (金)	
17 (土)	☆スタニシェフ首相：カラマンリス・ギリシア首相と電話協議。ブルガリアは一日当たり200万立方メートルの天然ガスをギリシャから受け取ることで合意。 ☆スタニシェフ首相：エジプト訪問 ●警察官が給与の改善を求めて内務省前で抗議運動
18 (日)	
19 (月)	☆国際オリンピック委員会ロゲ会長：ブルガリア訪問。（～20日） ●コズロドゥイ原子力発電所の再開を求める抗議運動（ソフィア市街地）。
20 (火)	☆スタニシェフ首相：オバマ新米大統領に祝電
21 (水)	●パルヴァノフ大統領：欧州議会選挙と総選挙の同時実施を支持すると表明
22 (木)	☆パルヴァノフ大統領：アゼルバイジャン訪問。
23 (金)	
24 (土)	
25 (日)	☆パルヴァノフ大統領：日本を公式訪問（～29日）
26 (月)	
27 (火)	
28 (水)	
29 (木)	☆パルヴァノフ大統領：ベトナム訪問。
30 (金)	☆ケレメドチエフ外務次官：非公式南東欧協力プロセス（SEECP）外相会合出席（於：モルドバ）
31 (土)	

# ブルガリア経済指標（2008年12月）

